

# マルチコントロール オーディオマスター

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## WX-C900MD



# 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

△警告・△注意 ..... 4

## 本機だけでできる操作

### ▶ 準備

まず、本機をリセットする ..... 6  
時計を合わせる(SET UP) ..... 7  
放送局を自動で登録する ..... 8  
ロータリーコマンドのラベルを貼る ..... 8

### ▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く ..... 9  
MDを聞く ..... 12  
ラジオを聞く ..... 15

### ▶ CD/MD

聞きたい曲を好きな順番で聞く  
(プログラム) ..... 17  
プログラムを変える ..... 20  
CDに名前をつける(ディスクメモ) ..... 22  
CDの聞きたい曲だけを聞く(バンク) ..... 24

### ▶ ラジオ

特定の放送局を登録する ..... 26  
放送局に名前をつける  
(ステーションメモ) ..... 27  
放送局を名前で探す(リスト) ..... 29

### ▶ DSP

サラウンドを設定する(SUR) ..... 30  
イコライザーを設定する(EQ) ..... 32  
リスニングポジションを設定する(POS) ... 35  
サブウーファの出力を設定する(SUB) ... 38  
スペクトラムアナライザーの表示を選ぶ  
(SA) ..... 40  
左右の出力バランスを調節する  
(Balance) ..... 41  
前後の出力バランスを調節する(Fader) ... 41  
ソースごとに音響効果を記憶する  
(ソースサウンドメモリー) ..... 42  
CD/MDごとに音響効果を登録する  
(ディスクサウンドメモリー) ..... 43

### ▶ その他の操作

ロータリーコマンドの操作 ..... 44  
設定を変える(SET UP) ..... 46

## 別売りの機器を接続すると

### ▶ CD/MD

チェンジャー内の  
CD/MDを聞く ..... 47  
各ディスクの頭を10秒ずつ再生する  
(ディスクスキャン) ..... 47  
聞きたいディスクを探す ..... 48  
繰り返し聞く(リピート) ..... 48  
曲順を変えて聞く(シャッフル) ..... 49  
CDに名前をつける(ディスクメモ) ..... 49  
ディスクを名前で探す(リスト) ..... 50  
聞きたい曲を好きな順番で聞く  
(プログラム) ..... 51

### ▶ テレビ・ビデオ

テレビを見る ..... 53  
ビデオを見る ..... 54  
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る ..... 54  
CD/MDの情報を見る ..... 55  
テレビやビデオを見ながらCD/MDの音を  
聞く(サイマルプレイ) ..... 56  
ロータリーコマンドでサイマルプレイを  
する ..... 57

### ▶ CD/CD-ROM

音声を切り換える ..... 58

## 付録

使用上のご注意 ..... 59  
各部のなまえ ..... 61  
故障かな? ..... 64  
保証書とアフターサービス ..... 67  
主な仕様 ..... 68  
索引 ..... 69

準備

ここだけ読んでも使えます

CD/MD

ラジオ

DSP

その他の操作

CD/MD

テレビ・ビデオ  
CD/CD-ROM

付録



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

---

### 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



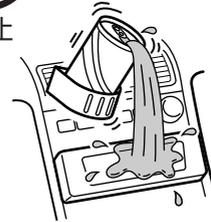
---

### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



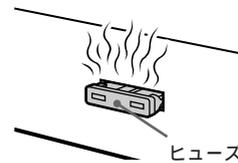
---

### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付けの場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



## はじめに

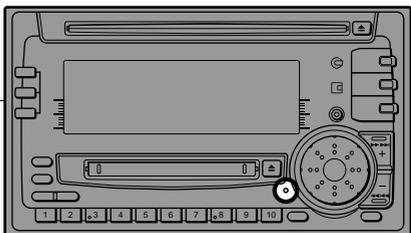
本機では、CDとMD(ミニディスク)ラジオを聞くことができます。また、DSPとイコライザー機能も備わっており、多彩で、きめ細やかな音作りが楽しめます。ロータリーコマンダーも付属していて、お手元で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。組み合わせる機器の例として以下のものがあります。

- CDチェンジャー、MD(ミニディスク)チェンジャー  
カスタムファイル機能がすべてのCDチェンジャーで、プログラム機能とディスクサウンドメモリー機能がプログラム演奏機能付きCDチェンジャーおよびMDチェンジャーで可能。
- テレビ、ビデオ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャー、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています(47ページ~)

## まず、本機をリセットする



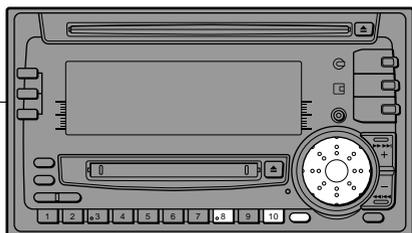
初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから5秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。誤ってCDを入れたときは、もう一度リセットボタンを押してください。

# 時計を合わせる

準備



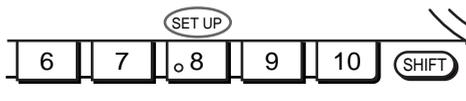
SET UP (セットアップ)

1 車のキーをONにする。

SHIFT

2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。



SET UP



3 数字ボタン8 (SET UP) を押す。



① 数字ボタン10(→)を押す。

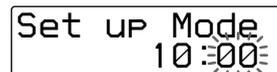


② ダイヤルを回して「時」を合わせる。

(時計は12時間表示)



③ 数字ボタン10(→)を押す。



④ ダイヤルを回して「分」を合わせる。



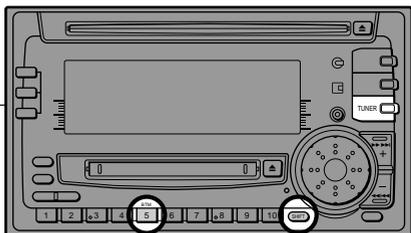
SHIFT

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

本機側面のパワーセレクトスイッチを①にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、TUNERボタンを押してラジオをつけます。

# 放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



**1** TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すたびにFM↔AMと切り換わります。



**2** SHIFTボタンを押して「BTM」を表示する。



**3** 数字ボタン5(BTM)を押す。

「B.T.M.(ベストチューニングメモリー)と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



**4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

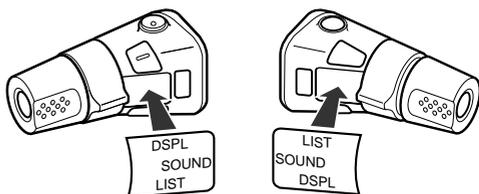
ご注意

- ・ 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- ・ 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

# ロータリーコマンドーのラベルを貼る

本機にはロータリーコマンドーが付属しています。ロータリーコマンドーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンドーの操作(44ページ)をご覧ください。

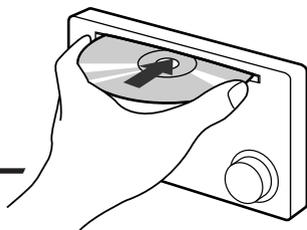
ロータリーコマンドーを取り付けた位置に合わせてラベルを貼る。



# CDを聞く

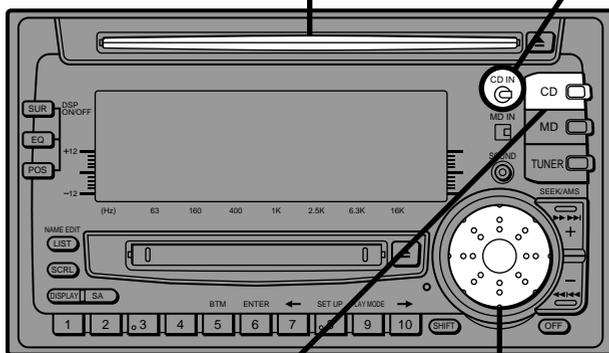
ここだけ読んで  
使えます

## CDを入れると再生が始まります



レーベル面を上にして  
入れます。

CDが入って  
いると点灯



音量を調節する

## CDが入っているときに押すと再生が始まる

シーディー  
(CDボタン)



## 8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターなしで再生することができます。

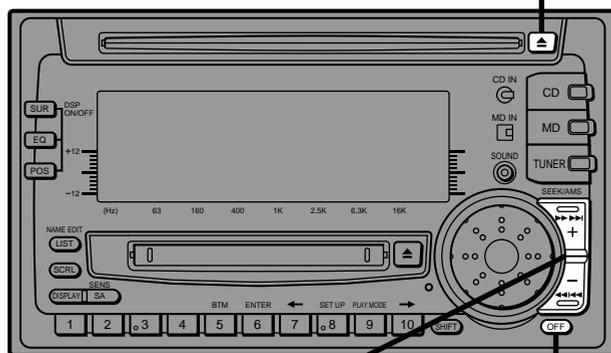
8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

次のページへつづく

## CDを聞く(つづき)

CDを取り出す\*

イジェクト  
(▲ボタン)



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス  
(SEEK/AMSボタン)



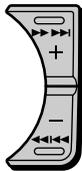
先に進める

前に戻す

押しつづけて、聞きたいところ  
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス  
(SEEK/AMSボタン)



次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ  
押します。

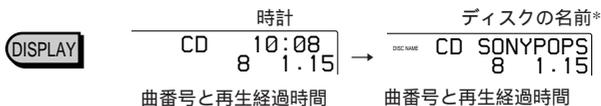
止める / 電源を切る

オフ  
(OFFボタン)

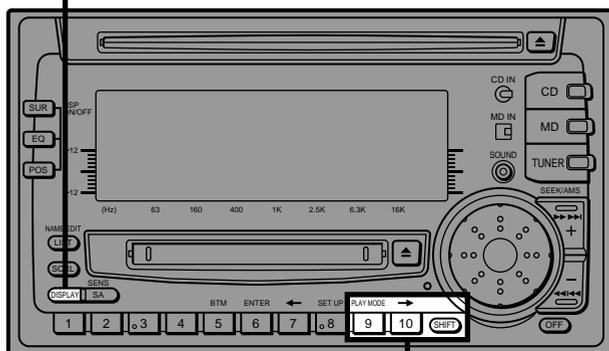
\* ▲ボタンを押したあと、挿入口にCDが15秒以上差し込まれたままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります(セルフストア機能)。

## 表示の見かた ディスプレイ (DISPLAYボタン)

DISPLAYボタンを押して表示を切り換えます。



\*名前を登録していないときは、「NO Name」と表示



## いろいろな聞きかた PLAY MODE (プレイモード)

- ・「Intro」 → 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
- ・「Repeat」 → 再生中の曲を繰り返す。
- ・「Shuffle」 → 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。



**1** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます  
(「SET UP」「PLAY MODE」など)

PLAY MODE



**2** 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して表示を切り換える。

Intro off → Repeat off → Shuffle off → ...



**3** 数字ボタン10(→)を押して「on」を選ぶ。

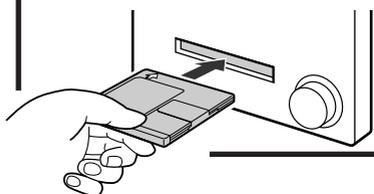


**4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」を選びます。

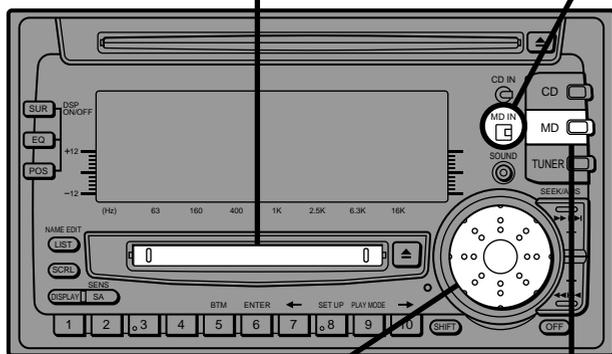
# MDを聞く

## MDを入れると再生が始まります



ラベル面を上にして  
↑の向きに入れます。

MDが入って  
いると点灯



音量を調節する

## MDが入っているときに押すと再生が始まる

エムディー  
(MDボタン)



本機ではMDに記録されたディスク名・曲名がアルファベットおよびカタカナで表示できます。

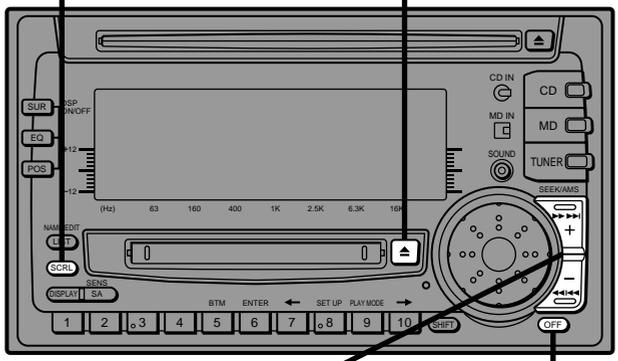
### ご注意

- ・ FM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77およびTVチューナーXT-40Vはカタカナ表示に対応していません。したがって、ディスク名・曲名がカタカナで記録されたMDを再生すると、FMX-77のディスプレイおよびXT-40Vのモニターでは正しく表示されません。
- ・ TVチューナーXT-40Vのモニターでは、アルファベットがすべて大文字で表示されます。

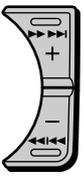
ここだけ読んで  
使えます

9文字以上の  
名前を見る  
スクロール  
(SCRLボタン)

MDを取り出す  
イジェクト  
(▲ボタン)



聞きたいところを探す  
シーク/エーエムエス  
(SEEK/AMSボタン)



先に進める  
前に戻す

押しつづけ、聞きたいと  
ころで離します。

曲の頭出しをする  
シーク/エーエムエス  
(SEEK/AMSボタン)



次の曲へ  
前の曲へ

とばしたい曲の数だけ  
押します。

止める / 電源を切る  
オフ  
(OFFボタン)

次のページへつづく

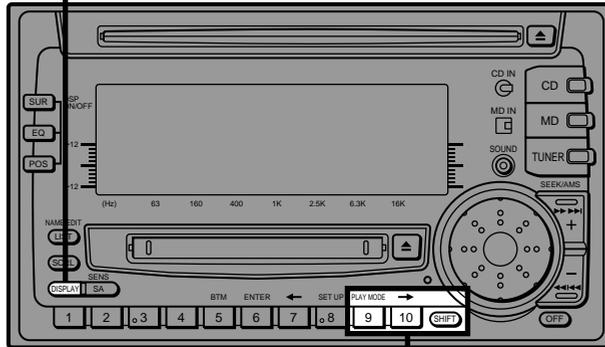
# MDを聞く(つづき)

## 表示の見かた ディスプレイ (DISPLAYボタン)

DISPLAYボタンを押して表示を切り換えます。



\* 名前が記録されていないときは、「NO Name」と表示



## いろいろな聞きかた PLAY MODE (プレイモード)

- ・「Intro」 → 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
- ・「Repeat」 → 再生中の曲を繰り返す。
- ・「Shuffle」 → 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

**SHIFT** 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。  
 SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます  
 (「SET UP」「PLAY MODE」など)

PLAY MODE  
**9** 2 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して表示を切り換える。

Intro off → Repeat off → Shuffle off → ...

**10** 3 数字ボタン10(→)を押して「on」を選ぶ。

**SHIFT** 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」を選びます。

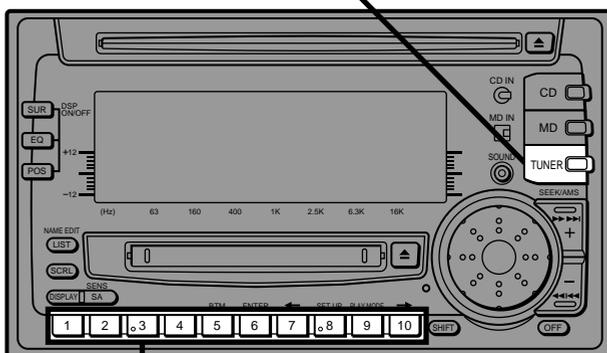
# ラジオを聞く

ここだけ読んで  
使えます

## 1 聞きたいバンドに切り換える



押すたびにFM↔AMと切り換わります。



## 2 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



プリセット(登録)のしかたについては、8ページ参照。

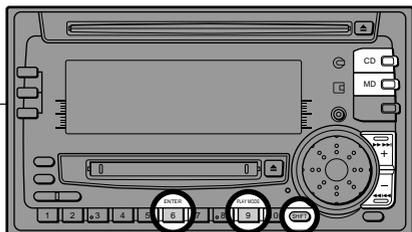
ご注意

数字ボタンの上に「BTM」および「SET UP」、「PLAY MODE」表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

次のページへつづく



# 聞きたい曲を好きな順番で聞く



プログラム

CD/MD

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ( PGM1とPGM2 ) それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。1度登録すると、ディスクを入れ換えても、最初に指定した順番のまま再生されます。また、CDとMDの曲を組み合わせることでプログラムを作ることができます。

## プログラムを登録する



1 CDまたはMDボタンを押してディスクを再生する。



2 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



3 数字ボタン9 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

CD PGM edit  
12 P1.01 PGMの表示

CDに名前をつけているときは、「Bank sel」表示が出ます。数字ボタン9を押して「PGM edit」表示にしてください。



4 CDまたはMDボタンを押して登録したいディスクを選ぶ。



5 SEEK/AMSボタンを押して登録したい曲を再生する。

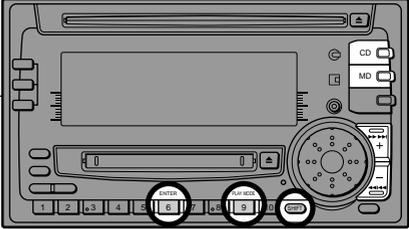
CD PGM edit  
8 P1.01 CDの8曲目をPGM1の1番目に登録するとき



6 数字ボタン6 (ENTER) を短く押して登録する。

P1 PGM edit +Enter+ → CD PGM edit  
8 P1.02

## 聞きたい曲を好きな順番で聞く(つづき)



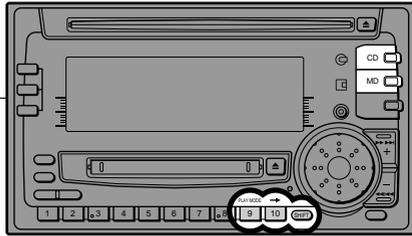
7 手順4～6を繰り返して、聞きたい順番に登録する。

8 数字ボタン9 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

9 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意  
「Memory full」: 13曲以上登録しようとする则表示されます。

プログラム



プログラム

CD/MD

## プログラムを聞く



**1** CDまたはMDボタンを押してプログラムが登録されたディスクを再生する。

**2** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

**3** 数字ボタン9 (PLAY MODE) を押し「PGM」表示にする。

**4** 数字ボタン10 (→) を押して聞きたいプログラムに切り換える。

PGM 1を再生

PGM 1

PGM 2を再生

PGM 2

ふつうの再生に戻る

PGM off

PGM 1と2をつづけて再生

PGM 1+2

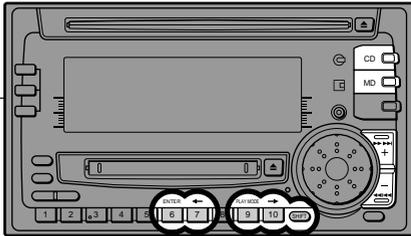


**5** 最後にSHIFTボタンを押す。

ご注意

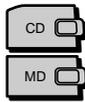
- ・プログラムが登録されていない場合は、「NO Data」と表示されます。
- ・1度登録した曲のディスクがない場合は、その曲はとばされて次に登録した曲が再生されます。
- ・「Not ready」と表示された場合は、ディスクが入っているかどうか確認してください。それでも再生されないときは、登録した曲の情報を読み取るまでしばらくお待ちください。

# プログラムを変える



プログラム

## 曲を追加する



**1** CDまたはMDボタンを押してディスクを再生する。



**2** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

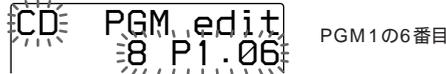


**3** 数字ボタン9 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

CDに名前をつけているときは、「Bank sel」表示が出ます。数字ボタン9を押して「PGM edit」表示にしてください。



**4** 数字ボタン7(←)または10(→)を押して何番目に曲を挿入するかを表示する。



**5** CDまたはMDボタンを押してディスクを選ぶ。



**6** SEEK/AMSボタンを押して追加したい曲を再生する。



**7** 数字ボタン6 (ENTER) を短く押す。

新しい曲が挿入され、それ以降の曲は1つずつずれます。

他の曲を追加するときは、手順4～6を繰り返します。

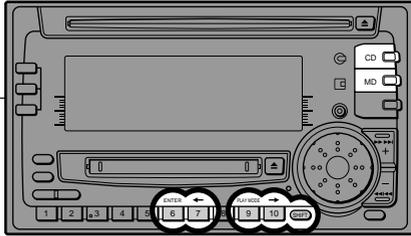
全体の曲数が12を超えると「Memory full」と表示され、それ以上登録できなくなります。



**8** 数字ボタン9 (PLAY MODE) を2秒以上押す。



**9** 最後に、SHIFTボタンを押す。



プログラム

CD/MD

## プログラムまたは曲を消去する



**1** CDまたはMDボタンを押してディスクを再生する。



**2** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



**3** 数字ボタン9 (PLAY MODE)を2秒以上押す。

CDに名前をつけているときは、「Bank sel」表示が出ます。数字ボタン9 (PLAY MODE)を押して「PGM edit」表示にしてください。



**4** 数字ボタン7(←)または10(→)を押して消したいプログラムまたは曲を表示する。



7番目に登録されている曲  
(MDの5曲目)を消すとき

プログラムごと消すときは「ミミPGM1ミミ」または「ミミPGM2ミミ」を表示します。

ENTER



**5** 数字ボタン6 (ENTER)を2秒以上押す。



指定した曲が削除され、それ以降の曲は1つずつ繰り上がります。他の曲を消すときは、手順4と5を繰り返します。

PLAY MODE

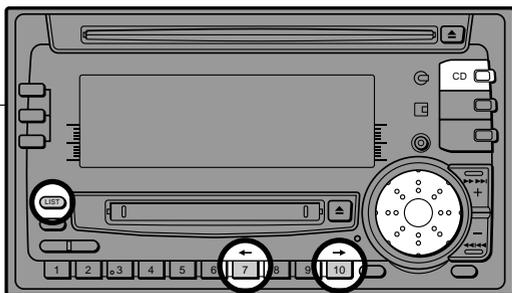


**6** 数字ボタン9 (PLAY MODE)を2秒以上押す。



**7** 最後に、SHIFTボタンを押す。

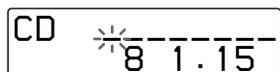
# CDに名前をつける



ディスクメモ/カスタムファイル

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前は本機に記憶され、CD110枚分の名前を保存できます。

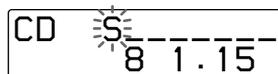
- LIST** 1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。



- 2 文字を入力する。

- ① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→\*→/→\→→  
→·→\_



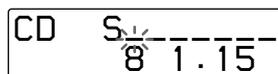
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「\_」(下線)を入力します。

名前を消したいときは、すべての文字に「\_」(下線)を入力します。



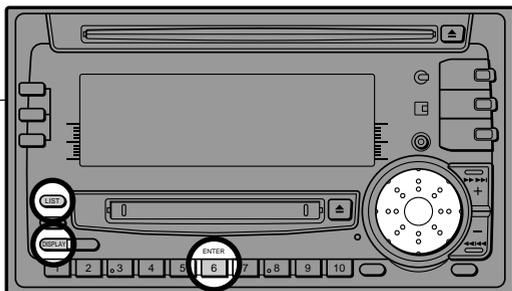
- ② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。



まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③ 手順①と②を繰り返して名前を入力する。

- LIST** 3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。



ディスクメモ/カスタムファイル

CD/MD

## 名前を表示するには

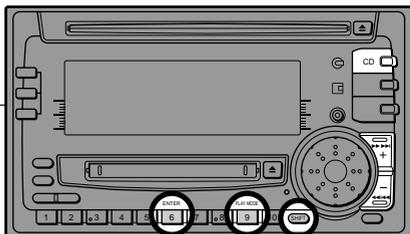
**DISPLAY** 再生中にDISPLAYボタンを押して、名前表示に切り換える。

## 名前を消去するには

- 1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 2 DISPLAYボタンを2秒以上押します。
- 3 ダイヤルを回して、消したい名前を表示させます。
- 4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。  
他の名前を消すときは、手順3と4を繰り返します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押します。

「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

# CDの聞きたい曲だけを聞く



バンク/カスタムファイル

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(22ページ)で名前をつけたCDだけです。

## 聞きたくない曲をとばすよう指定する

SHIFT

- 1 名前をつけたCDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE

9

- 2 数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押す。

CD Bank sel  
1 Play

「PGM edit」表示が出たときは、CDに名前がついていません。ふつうの表示に戻るには、数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押して、SHIFTボタンを押します。名前をつけてから、操作をやり直してください。



ENTER

6

- 3 SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。

表示が「Play(再生する)」から「Skip(とばす)」に変わります。

CD Bank sel  
3 Skip

「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6を押します。

- 4 同様にして、とばす曲全部に「Skip」を設定する。

PLAY MODE

9

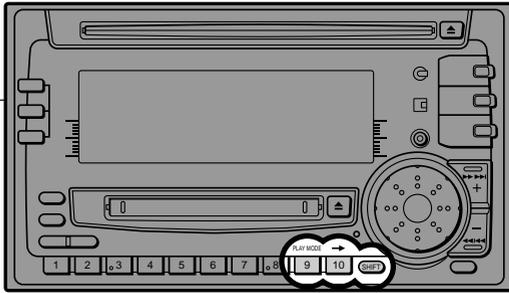
- 5 数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押す。

SHIFT

- 6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「Skip」の設定ができるのは24曲目までです。
- ・「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。



バンク/カスタムファイル

CD/MD

### 曲をとばしながら聞く

- ・「Bank on」 → 曲をとばしながら再生する。
- ・「Bank inverse」→「Skip」( とばす )を設定した曲だけ再生する。
- ・「Bank off」 → ふつうの再生。

SHIFT

**1** CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE

9

**2** 数字ボタン9 (PLAY MODE)を押して「Bank」表示にする。

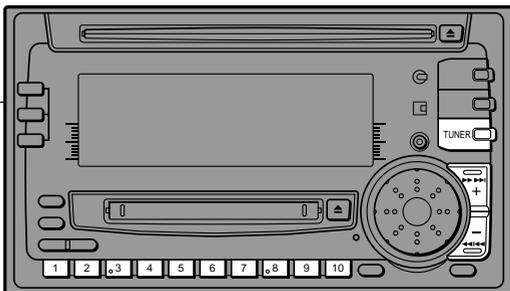
CD SCHUBERT  
Bank on

→  
10

**3** 数字ボタン10(→)を押して再生のしかたを選ぶ。

→ Bank on → Bank inverse → Bank off

# 特定の放送局を登録する



放送局を自動登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してあるものも、他の数字ボタンに登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくくと便利です。



**1** TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。



**2** SEEK/AMSボタンを押して、登録する放送局を受信する。

FM  
81.3 MHz



**3** 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。



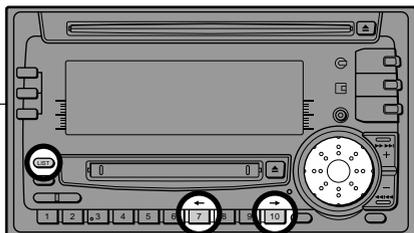
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

MEM  
2 81.3 MHz

## ご注意

- ・すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。
- ・数字ボタンの上に「BTM」および「SET UP」、「PLAY MODE」表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

# 放送局に名前をつける



ステーションメモ

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。  
最大40の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

**1** 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

**2** LISTボタンを2秒以上押す。

FM 1 81.3 MHz

**3** 文字を入力する。



① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→\*→/→\→...→\_

FM 1 J 81.3 MHz

ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「\_」(下線)を入力します。

名前を消したいときは、すべての文字に「\_」(下線)を入力します。



10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。

FM 1 J 81.3 MHz

まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。



7

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

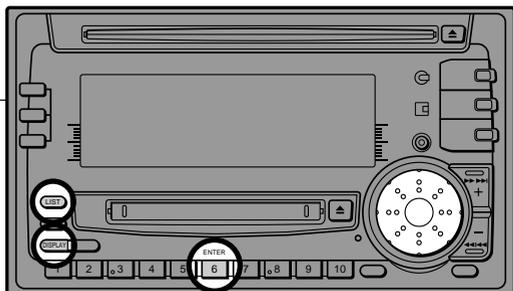
**4** つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。

LIST

**5** 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

ラジオ

## 放送局に名前をつける(つづき)



### 名前を表示するには

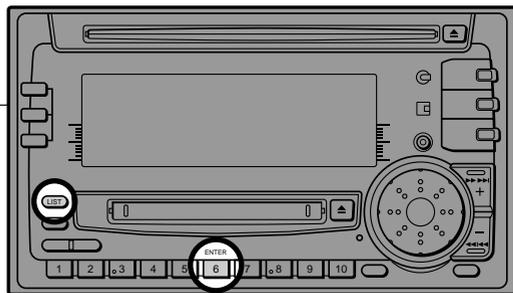
**DISPLAY** DISPLAYボタンを押して名前表示に切り換える。  
名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

### 名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押します。
- 2 DISPLAYボタンを2秒以上押します。
- 3 ダイヤルを回して、消したい名前を表示させます。
- 4 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押します。

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

# 放送局を名前で探す



リスト

放送局に名前をつけておくと(27ページ)、名前を見ながら放送局を探することができます。

- LIST** 1 LISTボタンを短く押す。

L3 TOKYO FM  
L4 ▶J-WAVE

受信中の放送局の名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

- LIST** 2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に▶を合わせる。

DISPLAYボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

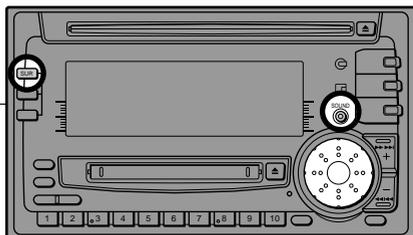
- ENTER**  
**6** 3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ご注意

別売りのTVチューナーを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作は行えません。詳しくは「ラジオ局・テレビ局の一覧を見る」(54ページ)。

ラジオ

# サラウンドを設定する



SUR

## サラウンドを選ぶ

DSPには7種類のサラウンド効果が用意されています。再生ソースに合わせてサラウンドを選ぶと、車内でも臨場感あふれる音を楽しめます。

表示	音のイメージ	表示	音のイメージ
スタジアム Stadium	野外スタジアム	ホール Hall	コンサートホール
ディスコ Disco	ディスコ	スタジオ Studio	レコーディングスタジオ
シアター Theater	映画館	カラオケ Karaoke	ボーカルをキャンセル
チャーチ Church	残響音の多い教会	デフォルト Defeat	サラウンド解除

**1** サラウンドを設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



**2** SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。

SUR  
Defeat



**3** ダイヤルを回してサラウンドを選ぶ(上の一覧を参照)。

設定したサラウンド効果に切り換わります。

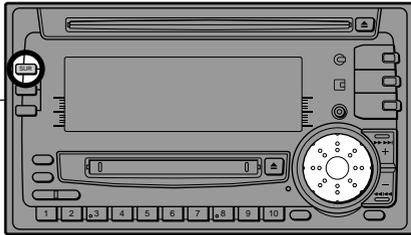
3秒後に通常モードに戻ります。

## サラウンドを解除するには



SURボタンを押します。

サラウンドで聞くには、もう一度SURボタンを押します。

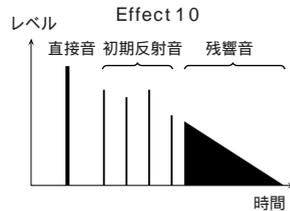
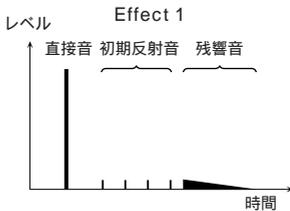


SUR

## サラウンド効果の反射音・残響音を調節する

7種類のサラウンドには、それぞれ反射音と残響音のレベル(エフェクトレベル)を設定することができます。エフェクトレベルは0から10まで設定でき、値が大きくなるほどサラウンド効果が大きくなります。

エフェクトレベル調節の目安



DSP

- 1 設定したいソース( CD、MD、ラジオなど)を再生し、設定するサラウンドを選ぶ( 30ページ参照 )。  
「Defeat」にはエフェクトレベルの設定はできません。



- 2 SURボタンを2秒以上押す。



- 3 ダイヤルを回してエフェクトレベル( 0 ~ 10 )を選ぶ。



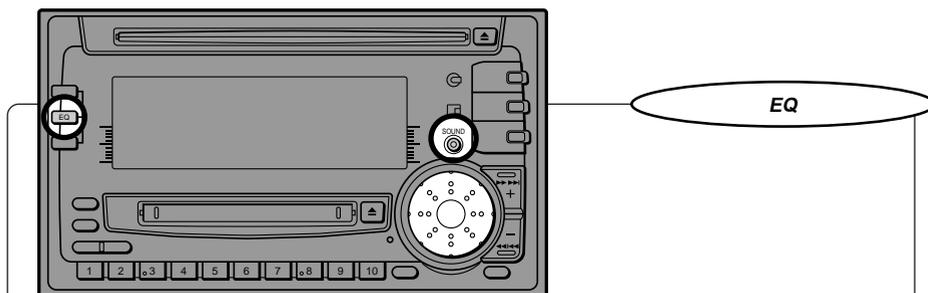
- 4 最後にSURボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

### つづけて他のサラウンドの反射音・残響音を調節するには

上記の手順3のあと、数字ボタン7( ← )を押して、サラウンド選択モードにします。ダイヤルを回してサラウンドを選び、数字ボタン10( → )を押してエフェクトレベル調整モードに戻ります。その後、手順3から操作を行ってください。

# イコライザーを設定する



## イコライザーカーブを選ぶ

イコライザーには音楽のジャンルに合わせて6種類のイコライザーカーブが用意されています(Reggae、Jazz、HipHop、Dance、Ballad、Classic)。また、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブを3種類登録できます(Memory1、Memory2、Memory3)。

**1** 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



**2** SOUNDボタンを押して「EQ」を表示する。



**3** ダイヤルを回してイコライザーカーブを選ぶ。



\*イコライザーでの音質調整が解除されます。

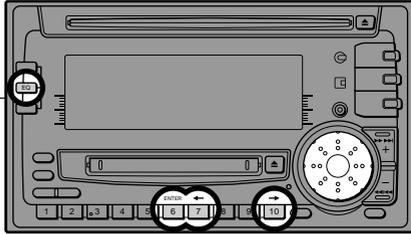
3秒後、通常モードに戻ります。

## イコライザーを解除するには



EQボタンを押します。

イコライザーをかけるには、もう一度EQボタンを押します。



EQ

## 好きなイコライザーカーブを登録する

あらかじめ用意されているイコライザーカーブに変更を加え、お好みのイコライザーカーブを3種類登録することができます。

- 1 設定したいソース( CD、MD、ラジオなど)を再生し、もとなるイコライザーカーブを選ぶ。

EQ

- 2 EQボタンを2秒以上押す。



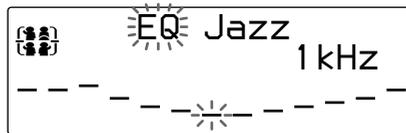
イコライザー調整モード



7

- 3 数字ボタン7(←)、10(→)で、周波数を選ぶ。

→  
10



イコライザー調整モード



- 4 ダイヤルを回し、レベルを調節する。

手順3と4を繰り返し、イコライザーカーブを調節する。

ENTER

6

- 5 数字ボタン6 (ENTER) を押す。

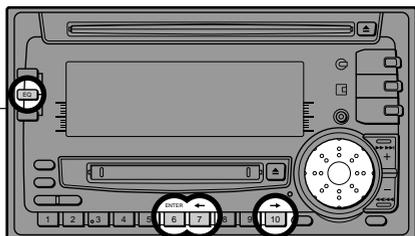


メモリー選択モード

DSP

次のページへつづく

## イコライザーを設定する(つづき)



EQ



- 6** ダイアルを回し、登録する番号( Memory 1、Memory 2、Memory 3 )を選ぶ。

EQ Entry  
Memory 3

メモリー選択モード

登録をやめるには、EQボタンを2秒以上押します。

ENTER

6

- 7** 数字ボタン6 ( ENTER ) を押して登録する。

EQ  
+Enter+

イコライザーカーブが登録され、イコライザー調整モードに戻ります。

EQ

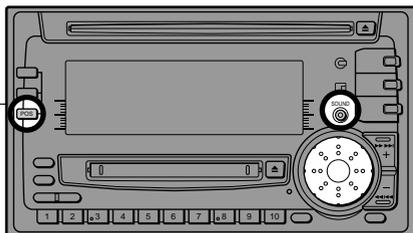
- 8** 最後に、EQ ボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

### つづけて他のイコライザーカーブを調節するには

上記の手順7のあと、数字ボタン7(←)を押して、イコライザーカーブ選択モードにします。ダイヤルを回してイコライザーカーブを選び、数字ボタン10(→)を押してイコライザー調整モードに戻ります。その後、手順3から操作を行ってください。

# リスニングポジションを設定する

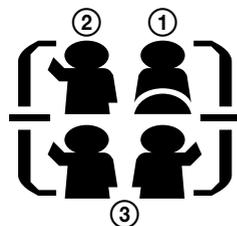


POS

## リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置(リスニングポジション)を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。

表示	聞き手の位置
All	全席(①、②、③)
Front	前席(①、②)
Front-R	前方右(①)
Front-L	前方左(②)
Rear	後席(③)
off	ポジション補正解除



DSP

SOUND



1 SOUNDボタンを短く押して「POS」表示にする。

POS

All

リスニングポジション  
選択モード



2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ  
(上の一覧を参照)。

回すたびにリスニングポジションは切り換わります。

POS

Front-R



リスニングポジション  
選択モード

3秒後に通常のモードに戻ります。

## リスニングポジション補正を解除する

POS

POSボタンを押します。

リスニングポジション補正をするには、もう一度POSボタンを押します。

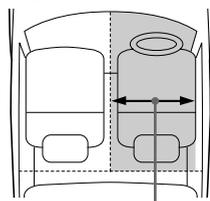
## リスニングポジションを設定する(つづき)

POS

### リスニングポジションを微調整する

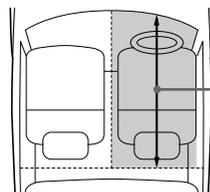
5種類のリスニングポジションは、左右および前後方向に微調整できます。

Front-Rでの調整例



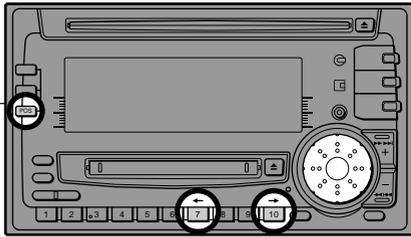
音場の中心

POS Front-R
Balance 0



音場の中心

POS Front-R
Fader 0



POS

## リスニングポジションを微調整する(つづき)

**POS** 1 POSボタンを2秒以上押す。

「POS off」ではリスニングポジションの微調整はできません。



2 ダイヤルを回して左右に調整する。



L(左)方向に移動

R(右)方向に移動



**10** 3 数字ボタン10(→)を押す。



4 ダイヤルを回して前後に調整する



R(後ろ)方向に移動

F(前)方向に移動

**POS** 5 最後に、POSボタンを2秒以上押す。

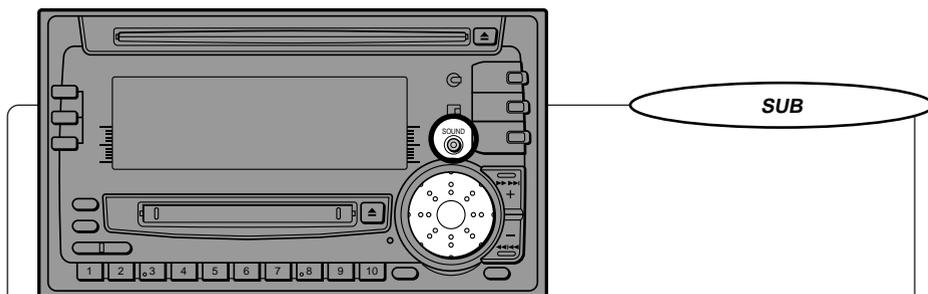
通常モードに戻ります。

## つづけて他のリスニングポジションを微調整するには

上記の手順4のあと、数字ボタン7(←)を2回押してリスニングポジション選択モードにします。ダイヤルを回してリスニングポジションを選び、数字ボタン10(→)を押してリスニングポジション調整モードに戻ります。その後、手順2から操作を行ってください。

DSP

# サブウーファーの出力を設定する



## サブウーファーの出力レベルを調整する

接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



- 2 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。

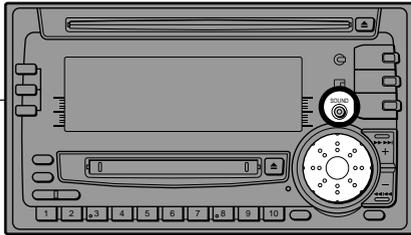
SUB  
Level 0dB      サブウーファー出力レベル調整モード



- 3 ダイヤルを回して出力レベルを調整する。

SUB  
Level +3dB      サブウーファー出力レベル調整モード

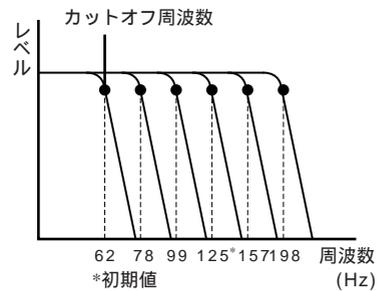
3秒後、通常モードに戻ります。



SUB

## サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分によって支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



DSP

**1** 設定したいソース( CD、MD、ラジオなど )を再生する。



**2** SOUND ボタンを2秒以上押す。



**3** ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz\* ↔ 157Hz ↔ 198Hz  
\*初期値



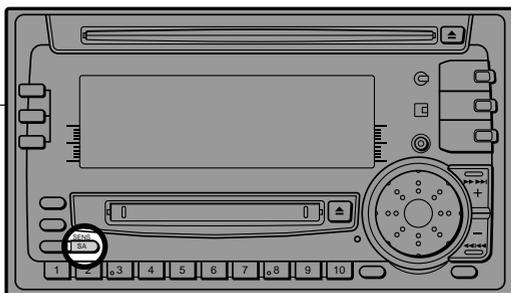
**4** 最後に、SOUND ボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

## サブウーファーの出力レベルを調整するには

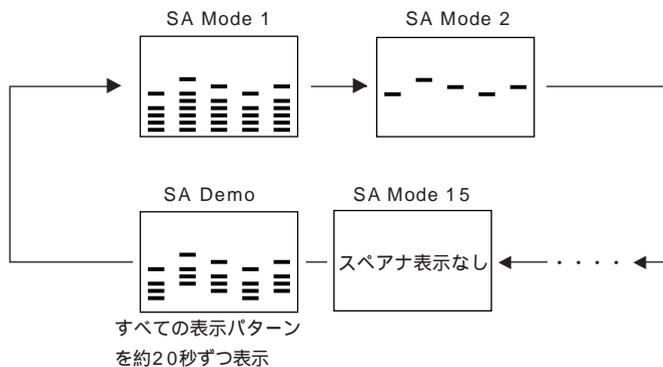
上記の手順3のあと、数字ボタン7(←)を押してサブウーファー出力レベル調整モードにします。ダイヤルを回して出力レベルを調整し、数字ボタン10(→)を押してカットオフ周波数調整モードに戻ります。その後、手順3から操作を行ってください。

## スペクトラムアナライザーの表示を選ぶ



刻々と変化する音声信号レベルを13バンドのスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。また、表示パターンは15種類の中から選ぶことができます。

**SA** SAボタンを短く押して表示パターンを選ぶ。



## スペクトラムアナライザーのレベルを調整する

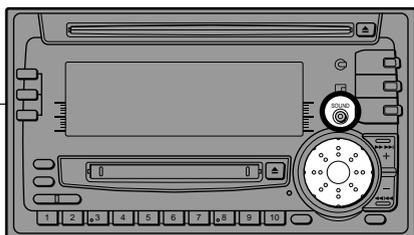
スペクトラムアナライザー表示のレベルは、3段階 (high, middle, low) に切り換えることができます。

**SA** SAボタンを2秒以上押す。

押すたびにレベルが切り換わります。

→ Sens high → Sens middle → Sens low

# 左右の出力バランスを調節する



Balance

SOUND



1 SOUNDボタンを押して「Balance」表示にする。

Balance R1

バランス(左右)調整モード

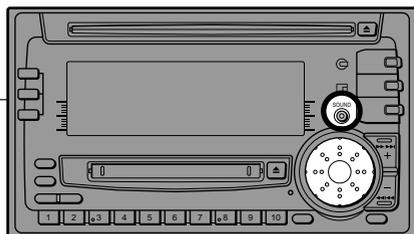


2 ダイヤルを回して左右の出力バランスを調整する。

3秒後、通常モードに戻ります。

DSP

# 前後の出力バランスを調節する



Fader

SOUND



1 SOUNDボタンを押して「Fader」表示にする。

Fader F1

フェーダー(前後)調整モード



2 ダイヤルを回して前後の出力バランスを調整する。

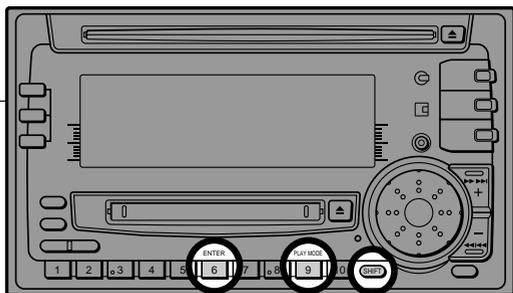
3秒後、通常モードに戻ります。

# ソースごとに音響効果を記憶する

## ソースサウンドメモリー

本機は自動的にソース(CD、MD、FM、AM、テレビ)ごとにサラウンド(SUR)、イコライザー(EQ)、サブウーファー(SUB)の設定を記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音場で再生することができます。

# CD/MDごとに音響効果を登録する



ディスクサウンドメモリー

本機では、ディスクごとにサラウンド (SUR)、イコライザー (EQ)、サブウーファー (SUB) の設定を登録することができます (250枚まで)。プログラム演奏に対応していないCD/MDチェンジャーでは機能しません。

- 1 設定したいディスク (CD、MD) を再生する。
- 2 サラウンド (SUR)、イコライザー (EQ)、サブウーファー (SUB) を調節する。

SHIFT

PLAY MODE

9

- 3 SHIFTボタンを押す。
- 4 数字ボタン9 (PLAY MODE) を押して「DSM set」表示にする。

ENTER

6

- 5 数字ボタン6 (ENTER) を押す。  
手順4のあと、5秒以内に行ってください。

MD DSM set

DSM +Enter+

ディスクサウンドメモリー  
(DSM)登録モード

## 登録した音響効果を消すには

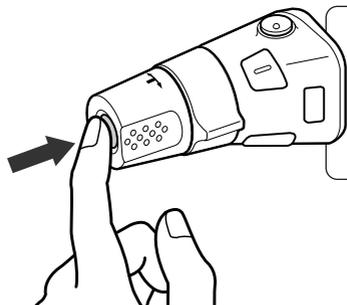
上記の手順5で、数字ボタン6 (ENTER) を2秒押します。

DSP

# ロータリーコマンドーの操作

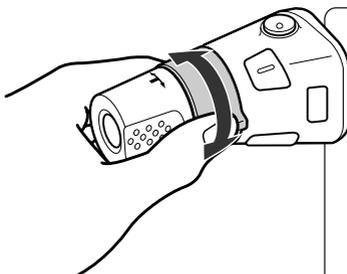
CD/MDチェンジャーやテレビ・ビデオは、各機器をつないでいるときのみ操作できます。

## 押すとソース(SOURCEボタン)



SOURCE ボタンを押すと  
ソースがFM AM テレビ ビデオ CD MDと切り換わる  
SOURCEボタンを押すと本機の電源が入ります。

## 回すとシーク・エー・エム・エス(SEEK/AMSつまみ)



CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする  
回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る  
ラジオ... 短く回して離すと自動的に局を受信する  
回しつづけると特定の周波数に合わせられる  
テレビ... 短く回して離すと自動的に局を受信する  
回しつづけると特定のチャンネルに合わせられる

## 押しながら回すとプリセット/ディスク(PRESET/DISCつまみ)

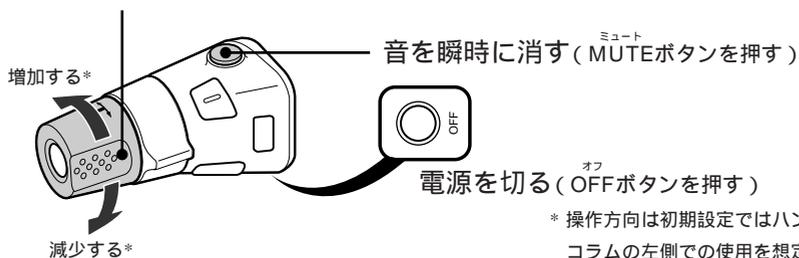


CD/MD... ディスクを切り換える  
リスト表示で選んだディスクを再生する  
ラジオ... プリセットした局を順に受信する  
リスト表示で選んだ局を受信する  
テレビ... プリセットしたチャンネルを切り換える

\* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

## その他の操作

音量を調節する (VOLつまみを回す)



表示を換える (DSPLボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。



リストを表示する (LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

## つまみの操作方向を切り換える

運転席の右に取り付けるか左に取り付けるかで、つまみの操作方向を切り換えて逆にできます。

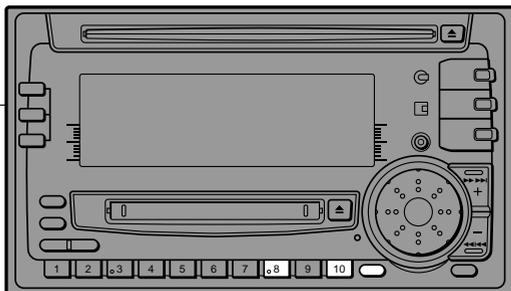
VOLつまみを押しながら、DSPLボタンを2秒以上押す

操作方向の切り換えは、本体でもできます(46ページ)。



その他の操作

# 設定を変える



SET UP (セッティング)

次の設定ができます。

- ・「Amber」、「Green」→ 操作ボタンの色を変える。
- ・「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ビップ」という音を消す。
- ・「A. Scroll」 → DISPLAYボタンを押して、MDの曲名またはディスク名を表示させたとき、9文字以上の名前を自動的にスクロールする。
- ・「Loudness」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- ・「RM」 → ロータリーコマンドのつまみの操作方向を切り換える。
  - 「norm」 → 初期設定の回転方向。
  - 「rev」 → ハンドルコラムの右側に取り付けたときの回転方向。

SHIFT

## 1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます(「SET UP」、「PLAY MODE」など)。

SET UP

8

## 2 数字ボタン8 (SET UP) を押して設定したい項目に切り換える。

Clock → Amber/Green → Beep → A.Scroll\* → Loudness\* → RM

\*チューナー受信中やCD/MD再生中に表示されます。

→  
10

## 3 数字ボタン10 (→) 設定を選ぶ。

(例: 「on」または「off」)

SHIFT

## 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

# CD/MD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーをつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

## チェンジャー内のCD/MDを聞く



再生中にCDまたはMDボタンを押して、聞きたいチェンジャーに切り換える。



CDの場合

CD1(本機) → CD2(CDチェンジャー1) → CD3(CDチェンジャー2)  
全てのディスクを順に再生します。

チェンジャーを選んだあとは、9~14、17~21ページと同じ操作が行えます。

ご注意

カタカナ表示に対応していないMDチェンジャーでは、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。

ディスクスキャン/PLAY MODE

## 各ディスクの頭を10秒ずつ再生する



**1** 再生中にSHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



**2** 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して「D.Scan」表示にする。



**3** 数字ボタン10(→)を押して「D.Scan on」表示にする。



**4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「D.Scan off」を選びます。

CD/MD

## 聞きたいディスクを探す

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン  
1 ~ 10を押す。



### ご注意

数字ボタンの上に、「SET UP」および「PLAY MODE」表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

## リピート/PLAY MODE

## 繰り返し聞く

- ・「Repeat 1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- ・「Repeat 2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
- ・「Repeat 3」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクまたは本機のディスクを繰り返す。

- 1** 再生中にSHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2** 数字ボタン9 (PLAY MODE) を押して「Repeat」表示にする。
- 3** 数字ボタン10 (→) を繰り返し押し続けて聞きたい設定に切り換える。



リピート演奏が始まります。

- 4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生にするには、手順3で「Repeat off」を選びます。

## 曲順を変えて聞く

- ・「Shuffle 1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に再生する。
- ・「Shuffle 2」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生する。
- ・「Shuffle 3」→ 全ディスクの曲を順不同に再生する。

**SHIFT** 1 再生中にSHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示にする。

PLAY MODE

9



10

2 数字ボタン9 (PLAY MODE) を押して「Shuffle」表示にする。

3 数字ボタン10(→)を繰り返し押し続けて聞きたい設定に切り換える。

→ Shuffle 1 → Shuffle 2 → Shuffle 3 → Shuffle off

シャッフル演奏が始まります。

**SHIFT** 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生にするには、手順3で「Shuffle off」を選びます。

## CDに名前をつける

22～25ページと同じ操作が行えます。

### ご注意

CDの名前は本機またはカスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。名前の消去は、名前が登録されているプレーヤー(本機またはチェンジャー)でCDを再生しないとできません。「名前を消去するには」(23ページ)で消したい名前が見つからないときは、手順1で他のカスタムファイル対応のプレーヤーでCDを再生してください。

## ディスクを名前で探す

名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。CDについては、ディスクメモ機能(22ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST

### 1 LISTボタンを短く押す。

再生中のディスクを含む2枚分の名前を表示します。

```

L1  ▶SCHUBERT
L2  MOZART
  
```

再生中のディスク名が点滅

LIST

### 2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前に▶を合わせる。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、通常の表示に戻ります。

ENTER

6

### 3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- ・「No Disc」: ディスクが入っていない
- ・「\*\*\*\*\*」: 名前が入っていない。
- ・「?」: ディスクの情報を読み取っていない。
- ・別売りのTVチューナーを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作は行えません。詳しくは「CD/MDの情報を見る」(55ページ)。

## 聞きたい曲を好きな順番で聞く

プログラム演奏対応のCD/MDチェンジャーの場合

チェンジャーの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ( PGM1とPGM2 )、それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。1度登録すると、ディスクやチェンジャーを入れ換えても、最初に指定した順番のまま再生されます。また、CDとMDの曲を組み合わせることでプログラムを作ることができます。

## プログラムを登録する



1 CDまたはMDボタンを押してディスクを再生する。



2 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



3 数字ボタン9 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

CD1 PGM edit PGMの表示  
12 P1.01

CDに名前をつけているときは、「Bank sel」表示が出ます。数字ボタン9を押して「PGM edit」表示にしてください。

4 登録したい曲を再生する。

- ① CDまたはMDボタンを押してチェンジャーを選ぶ。
- ② SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」表示を消す。
- ③ 数字ボタンを押してディスクを選ぶ。
- ④ SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- ⑤ SEEK/AMSボタンを押して登録したい曲を再生する。

ENTER



5 数字ボタン6 (ENTER) を短く押して登録する。

P1 PGM edit +Enter+ → CD2 PGM edit 8 P1.02

**聞きたい曲を好きな順番で聞く(つづき)**

**6** 手順4～5を繰り返して、聞きたい順番に登録する。

PLAY MODE



**7** 数字ボタン9 (PLAY MODE) を2秒以上押す。



**8** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

「Memory full」: 13曲以上登録しようとする则表示されます。

**プログラムを聞く**

19ページをご覧ください。

ご注意

プログラム再生中に数字ボタンを押すとふつうの再生に戻ります。

**曲を追加する**

20ページをご覧ください。ただし、チェンジャー内の曲を追加するときは、20ページの手順5～6のかわりに次の操作をしてください。

- 1** CDまたはMDボタンを押してチェンジャーを選びます。
- 2** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」表示を消します。
- 3** 数字ボタンを押してディスクを選びます。
- 4** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。
- 5** SEEK/AMSボタンを押して追加したい曲を再生します。

**プログラムまたは曲を消去する**

21ページをご覧ください。

# テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見することもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターをつないでください。

## テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

### チャンネルを登録する

最大10局まで登録できます。



**1** TUNERボタンを押して「TV」表示にする。



**2** SHIFTボタンを押してから数字ボタン5 (BTM) を押す。

BTM

5

受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。

### その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～10を押す。
強制的にモノラル受信するには	「ラジオを聞く」(16ページ)と同じ手順を行う(ステレオ放送受信中)。
副音声を聞くには	SHIFTボタンを押してから数字ボタン9(PLAY MODE)を短く押して「MAIN」表示にする。それから数字ボタン10(→)を押して「SUB」表示にする(2か国語放送受信)。
特定のチャンネルをプリセットするには	「特定の放送局を登録する」(26ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(27ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)。

# テレビ・ビデオ

## ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



**1** TUNERボタンを押して「AUX Video 1」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子につないでいるときは、「AUX Video 2」表示に切り換えます。

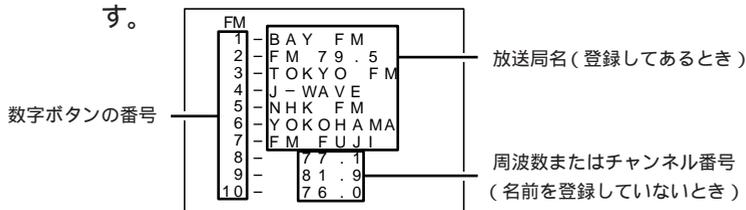
**2** ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

## ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

プリセットしたテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。

LIST

ラジオまたはテレビを受信中に、LISTボタンを短く押す。



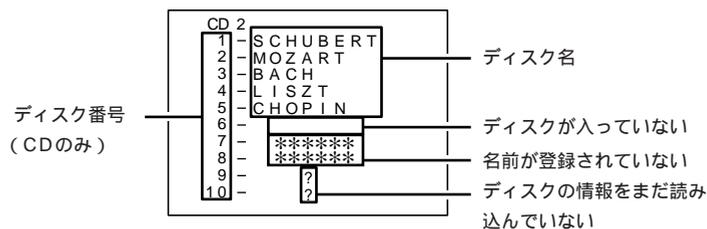
現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

## CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(22ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

**LIST** 再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

ご注意

- ・ MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
- ・ 名前はすべて大文字で表示されます。

# テレビ・ビデオ

サイマルプレイ

## テレビやビデオを見ながらCD/MDの音を聞く



- 1 TUNERボタンを押して「TV」または「AUX」(ビデオ)表示にする。

TV  
1 1 Ch



- 2 CDボタンまたはMDボタンを2秒以上押す。  
サイマルプレイが始まります。

CD  
8 1.15

### サイマルプレイをやめるには

TVまたはビデオを止めるには、CDボタンまたはMDボタンを2秒以上押します。

CDまたはMDを止めるには、TUNERボタンを押して「TV」または「AUX」(ビデオ)表示にします。

#### ご注意

- ・ ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- ・ サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は出ません。

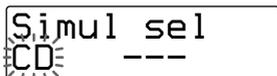
## ロータリーコマンドでサイマルプレイをする

**1** ロータリーコマンドのSOURCEボタンを2秒以上押す。

←

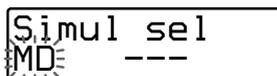
7

**2** 数字ボタン7(←)を押す。



Simul sel  
CD ---

**3** ロータリーコマンドのSOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。

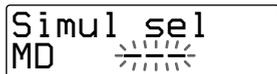


Simul sel  
MD ---

→

10

**4** 数字ボタン10(→)を押す。



Simul sel  
MD ---

**5** ロータリーコマンドのSOURCEボタンを押して「TV」または「Video1」(ビデオ)表示にする。



Simul sel  
MD TV

**6** ロータリーコマンドのSOURCEボタンを2秒以上押す。

サイマルプレイが始まります。

### サイマルプレイをやめるには

テープまたはCD、MDを止めるには、手順3で「 - - - 」を選びます。

TVまたはビデオを止めるには、手順5で「 - - - 」を選びます。

# CD/CD-ROM

音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続します。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

## 音声を切り換える

音声多重ディスク(ビデオCDやCD-Gなどの一部)では、左右のチャンネルに別々の音声が録音されています。このようなディスクでは左右どちらか、片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます(このような場合音声はモノラルになります)。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるにはDSPLボタンによる操作ではなく以下のようにしてください。

-  **1** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。  
SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。(「SET UP」、「PLAY MODE」など)
-   **2** 数字ボタン9 (PLAY MODE)を押して、「Stereo」を表示する。
-  **3** 数字ボタン10(→)を押して「L mono」か「R mono」を選ぶ。
-  **4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

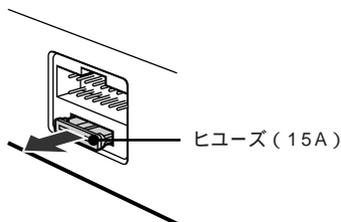
# 使用上のご注意

## 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CD/MDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

## コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。

CD/CD-ROM

付録

次のページへつづく

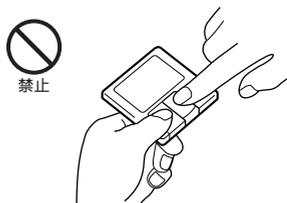
## 使用上のご注意(つづき)

### MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやすりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

### MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。



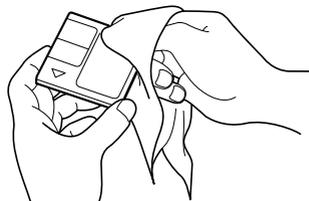
### 保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



### お手入れ

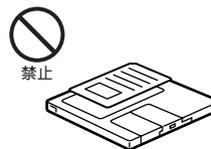
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



### ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDがチェンジャーから取り出せなくなる場合があります。

- ・ 指定の場所に貼ってください。



- ・ 重ねて貼らないでください。



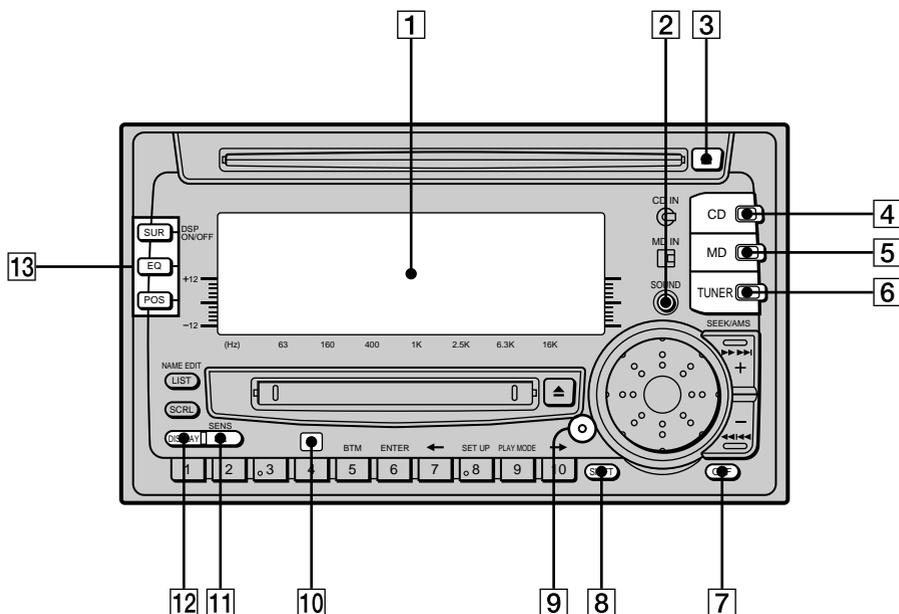
- ・ ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



# 各部のなまえ

## 本体

内のページに詳しい説明があります。

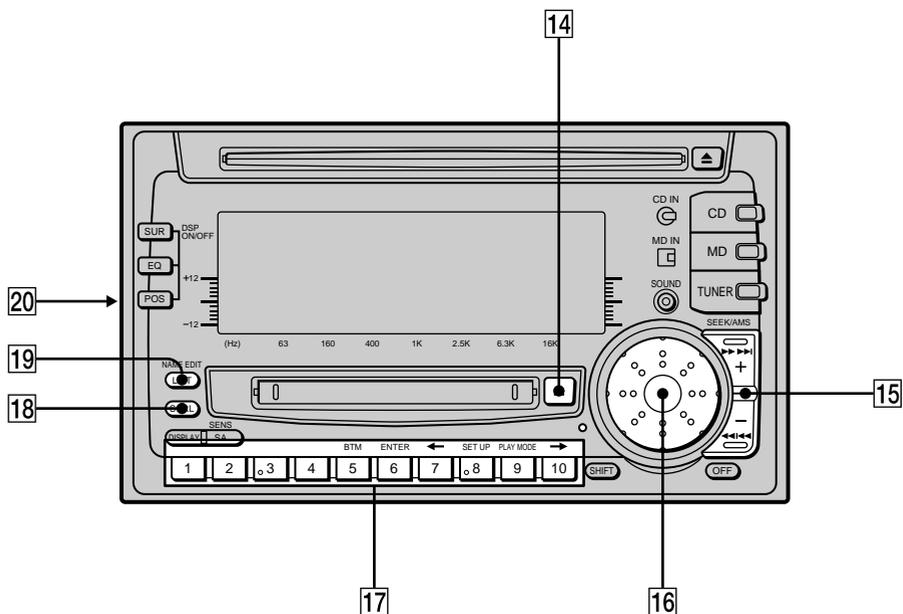


- 1 表示窓
- 2 SOUND (音質調整) ボタン  
サウンド
- 3 ▲ (CD取り出し) ボタン 10  
イジェクト
- 4 CD (CD再生、CDチェンジャー選択) ボタン 9 17 19 20 21 47 51 56  
シーディー
- 5 MD (MD再生、MDチェンジャー選択) ボタン 12 17 19 20 21 47 51 56  
エムディー
- 6 TUNER (バンド切り換え) ボタン 8 15 26 53 54 56  
チューナー
- 7 OFF (電源切り) ボタン 10 13  
オフ
- 8 SHIFT ボタン  
シフト  
BTM 8 53  
PLAY MODE 11 13 17 18 19 20 21 24 25 43 47 48 49 51 52  
SET UP 7 46
- 9 リセットボタン 6
- 10 リモコン受光部  
スベアナ/センシティブディ
- 11 SA/SENS (スペクトラムアナライザー切り換え / 振り幅切り換え) ボタン 40  
ディスプレイ
- 12 DISPLAY ボタン 11 14 16 23 26  
サラウンド
- 13 SUR (サラウンド切り換え) ボタン 30 31  
サラウンド  
EQ (イコライザー切り換え) ボタン 32 33 34  
POSITION  
POS (リスニングポジション切り換え) ボタン 35 37

SHIFTボタンについて  
本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1～10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

次のページへつづく

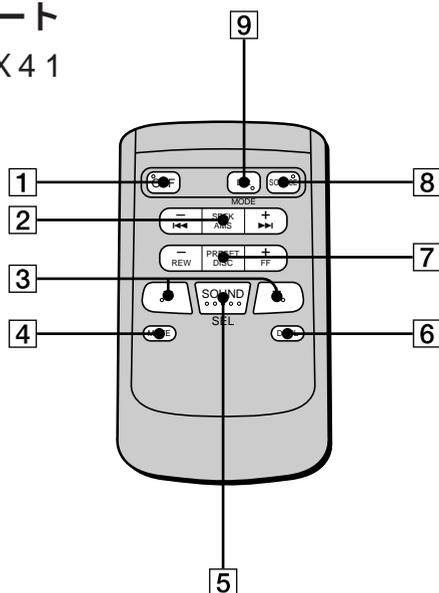
## 各部のなまえ(つづき)



- 14 イジェクト  
▲(MD取り出し)ボタン 13
- 15 シーク/エーエムエス  
SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局)ボタン 10 13 16 17 20 24 26
- 16 ボリューム/サラウンド/イコライザー/ポジション/サブウーファー  
Volume/SUR/EQ/POS/SUB/  
バランス/フェーダー(音量調節)ダイヤル  
7 9 22 27 30 31 32 33 34 35 37 38 39 41

- 17 数字ボタン1~10  
ラジオ 8 15 26  
CD/MD 47 48  
テレビ 53
- 18 スタロール  
SCRL(表示送り)ボタン 13
- 19 リスト  
LISTボタン  
ラジオ 27 29 34  
CD/MD 22 50 55  
テレビ 53
- 20 パワーセレクトスイッチ(左側面)  
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

## ワイヤレスリモート コマンダーRM-X41 (別売り)



- |  |  |
|--|--|
| <p>1 OFF (電源切り) ボタン<br/><small>オフ</small></p> <p>2 SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン<br/><small>シーク/エーエムエス</small></p> <p>3 (+) (-) ボタン<br/><small>ミュート</small></p> <p>4 MUTE (音切り) ボタン<br/><small>ミュート</small></p> <p>5 SOUND (音量調節/音質調整) ボタン<br/><small>サウンド</small></p> <p>6 DSPL (表示切り換え) ボタン<br/><small>ディスプレイ</small></p> | <p>7 PRESET/DISC ボタン<br/><small>プリセット/ディスク</small><br/>ラジオ... プリセットした局を選局<br/>CD/MD... ディスク交換</p> <p>8 SOURCE (FM/AM/CD/MD/テレビ/ビデオ切り換え) ボタン<br/><small>ソース</small></p> <p>9 本機ではこのボタンは動きません。</p> |
|--|--|

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>音量を上げてください。</li><li>スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが③になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。(アクセサリポジションのある車のみ)
	LOUDNESSの効果がわからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 LOUDNESS効果は小音量時のみかかります。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>リセットボタンを押した。</li><li>動作電源コードまたはバッテリーをはずした。</li><li>電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている(46ページ)。
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>すでに別のディスクが入っている。</li><li>ディスクを誤った向きに入れようとしている。 レーベル(ラベル)面を上に入れてください。</li></ul>
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。</li><li>ディスクが傷ついている。</li><li>本機の取り付け角度が20°を越えている。</li><li>本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li></ul>

	症状	原因・処置
ラジオ/テレビ	受信できない、 雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li> <li>周波数を確認してください。</li> </ul>
	SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい局で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Local」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(16ページ)。</li> <li>電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押してつけて周波数を合わせてください。</li> </ul>
DSP	音が出ない、 音が小さい	<p>リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。</p> <p>DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。</p>

## 故障かな?(つづき)

### CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
Error	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
High temp	周囲の温度が50.0以上あって再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Magazine	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
Not ready	MDチェンジャーのフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。
	CD/MDが入っていない。	CD/MDを入れる。
Push reset	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

## 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

## 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

SN比	104dB
周波数特性	5-20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## MDプレーヤー部

ワウフラッター	測定限界以下
SN比	104dB
周波数特性	5-20,000Hz

## チューナー部

### FM

受信周波数	76~90MHz(テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	11dBf
周波数特性	30~45,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	18dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 70dB(モノラル)

### ひずみ率(1kHz)

	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)
キャプチャアレシオ	4dB

### AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

## グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、160Hz、400Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	±12dB

## アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	35W×4(4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	FMコンボジット出力端子、 サブウーファー音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子
本体寸法	約78×100×171mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約78×100×155mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.5kg
付属品	ロータリーコマンドーRM-X2S (1) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	ワイヤレスリモートコマンドー RM-X41(1) CDチェンジャー CDX-81(10枚) CDX-91(10枚) CDX-T62(6枚) CDX-T65(6枚) CD/CD-ROMチェンジャー CDX-R61(6枚) MDチェンジャー MDX-60 FM文字多重放送ディスプレイ ユニット FMX-77 TVチューナーユニット XT-40V ソースセクター XA-C30 バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m) RC-62(2m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m)RC-65(5m) バスシステム接続キット RC-130 CDクリーニングキット CDM-21BK

本機は、ドルビーラボラトリーライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## あ行

イコライザー 32~34  
イントロ 11、14  
エラー表示 65  
音質  
サラウンド 30  
残響音 31  
反射音 31  
ラウドネス 46  
音量 9、12

## か行

カスタムファイル 22~25  
カットオフ周波数 39

## さ行

サイマルプレイ 56、57  
サブウーファー 38、39  
サラウンド 30、31  
CD/MD  
ディスク名の一覧 55  
名前で探す 50  
名前をつける 22、49  
名前を表示する 23  
CD-G 58  
シャッフル 11、14  
ステレオ放送 16  
スピーカーバランス 41  
スペクトラムアナライザー  
40  
SET UP  
Amber 46  
Beep 46  
Clock 7  
Green 46  
Loudness 46  
RM 46

## た行

ディスクメモ 22、23  
デジタルシグナルプロセッ  
サー 30~39  
テレビ 53  
チャンネルの一覧 54  
名前をつける 27  
プリセット 26  
道路交通情報 26  
電源 10、13  
時計 7

## な行

名前  
消去する 23、28  
つける 22、27  
表示する 23、28

## は、ま、や行

バランス 41  
バンク 24、25  
ビデオ 54  
ビデオCD 58  
表示窓  
CD/MD 11、14  
ラジオ 16  
フェーダー 41  
プリセット  
自動プリセット 8  
テレビチャンネル 53  
ラジオ局 8、26  
プログラム 17~21、  
51、52

## PLAY MODE

Intro 11、14  
Local 16  
Mono 16  
Repeat 11、14  
Shuffle 11、14  
ベストチューニングメモリー  
8  
ボタンの音 46

## ら、わ行

ラウドネス 46  
ラジオ 15、16、26~29  
局の一覧 54  
自動選局 16  
名前で探す 29  
名前をつける 27  
名前を表示する 28  
プリセット 8、15、26  
リスニングポジション  
35~37  
リセット 6  
リピート 11、14  
リモコン  
ロータリーコマンダー  
44、45  
ワイヤレスリモートコマン  
ダー(平形) 62





ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111